

**2021年度 京都大学フィールド科学教育研究センター
舞鶴水産実験所 全国公開実習「仔稚魚学実習」(*海洋生物科学技術論と実習Ⅳ)
募集要項**

1. 授業科目：〔仔稚魚学実習〕(*海洋生物科学技術論と実習Ⅳ)

京都大学農学部特別聴講学生としての受講が可能であり、本学より2単位を発行する。ただし、単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること。特別聴講学生とならずに実習に参加する場合は、実習の履修後に「実習修了証」を発行する。実習修了証にもとづく単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること。実習は京都大学農学部生と合同で行う。今年度は新型コロナウイルスの影響により予定を大幅に変更する可能性があるため、舞鶴水産実験所および京都市左京区の京都大学本部キャンパスに日帰りで通学できることを参加条件の一つとする。

* 本実習は「水産海洋フィールド教育プログラム」(京都大・長崎大・広島大・北海道大)に含まれます。

2. 実施施設： 京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所 (京都府舞鶴市)
(場合によっては、京都大学本部キャンパス (京都府京都市左京区))

* 自家用車等での来所は認めません。公共交通機関を使って来てください。

3. 実施期間： 2022年3月7日(月)～11日(金)

4. 対象学生：

特別聴講学生になる場合：学部2・3年生

特別聴講学生にならない場合：学部生の全年次(文系・理系を問わない)

* 京都大学農学部特別聴講学生としての受講を希望する場合については次頁「9. 授業料及び参加費用」を必ず参照すること。

5. 定員：2名(予定)

6. 新型コロナウイルス(COVID19)感染拡大予防：

京都大学の感染拡大予防マニュアルに従うとともに、舞鶴水産実験所の特性を考慮した対策指針に則り、今年度は特別に以下の対策のもと実習を実施する。ただし、緊急事態宣言、京都大学の方針、気象警報の発令などにより実習を中止する可能性がある。場合によっては、実習期間中であっても中止となる可能性もある。

京都大学新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限ガイドライン(以下、活動制限ガイドライン)のレベルによって実習日程を変更する(実施2週間前までに決定し連絡する)。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/coronavirus/>

日程と内容：

- ・ 宿泊期間を短縮するため、データ解析やレポート作成は、帰宅後に各自で行う
- ・ 教員や TA が適宜オンラインで指導を行う

参加条件：

- ・ 活動制限ガイドラインがレベル 2-の場合（舞鶴水産実験所での宿泊ができない場合）、舞鶴水産実験所および京都市左京区の京都大学本部キャンパスに自宅あるいは各自手配した宿泊先（ホテル等）から日帰りで通学できること
- ・ 実習前 2 週間、健康に異常がなく、海外渡航や COVID19 感染者との濃厚接触もないこと
- ・ 実習中、健康に異常が認められた場合、当日中に家族に迎えに来てもらうことができること
- ・ 健康以外の理由により、キャンセルする可能性がほとんどないこと
異常：発熱（平熱より高い、37.5 度以上を目安）、咳、咽頭痛、倦怠感、味覚障害等、COVID19 感染が疑われる症状

生活様式：

- ・ 各自、マスクと体温計を持参する
- ・ 体温を 1 日 1 回測定して異常が認められた場合はその日の担当教員に報告する
- ・ 食事は個別にとる
- ・ 宿泊棟の部屋やシャワーブースは一人ずつ決められた場所を使用する
- ・ 体調に異常が認められた場合は家族等に迎えに来てもらう

7. 必要提出書類：

- ・ 特別聴講学生願書（特別聴講学生になる場合）または受講願（特別聴講学生にならない場合）
- ・ 受入依頼書（特別聴講学生になる場合）
- ・ 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険加入証明書（領収書等のコピーでも可）

8. 申込締切：

特別聴講学生になる場合：2021年11月12日（金）必着

特別聴講学生にならない場合：2022年1月14日（金）必着

先着順で申込を受け付け、定員に達した時点で締め切りとする。

9. 授業料及び参加費用：

- ・ 授業料

特別聴講学生になる場合：1 単位あたり 14,800 円*×2 単位 = 29,600 円

特別聴講学生にならない場合：不徴収

*) 国立大学生及び京都大学との間に大学間相互単位互換協定を締結する公立・私立大学に所属する学生は、授業料は不徴収となります。詳細は所属大学の教務・学務担当に照会すること。

・参加費用

<活動制限ガイドラインがレベル0の場合>

約 7,200 円（宿泊費・昼夕食費）＋朝食費，交通費は各自で準備のこと

<活動制限ガイドラインがレベル1の場合>

約 3,800 円（宿泊費・昼夕食費）＋朝食費，交通費は各自で準備のこと

<活動制限ガイドラインがレベル2-の場合>

400 円（昼食費）＋その他の食費，交通費は各自で準備のこと

<活動制限ガイドラインがレベル2以上の場合>

実習中止

10. 提出・問い合わせ先：

〒625-0086 京都府舞鶴市長浜無番地

京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

電話：0773-62-5512 E-mail：maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 実習への参加を希望される方は メール (maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) にて早めに受講意思を連絡し，担当職員から必要書類を受け取ること。受け取った書類に必要事項を記載のうえ，担当職員へメールを送付することで受付を完了とする。ただし，書類は個人情報を含むため，必ずパスワードをかけること。

11. 実習日程と内容：

実施2週間前までに実習日程を決定し連絡する。

<活動制限ガイドラインがレベル0の場合>

・舞鶴水産実験所で4泊する（遠方から参加する実習生には，実験所での前泊，後泊を認める場合がある）。

3月7日：西舞鶴駅10時20分集合

舞鶴水産実験所 耳石解析 実験所で宿泊

3月8日：舞鶴水産実験所 緑洋丸で環境観測と底生生物採集 実験所で宿泊

3月9日：舞鶴水産実験所 サンプルの同定と計数 実験所で宿泊

3月10日：舞鶴水産実験所 環境データの解説，稚魚の胃内容物分析 実験所で宿泊

3月11日：舞鶴水産実験所 報告会

西舞鶴駅16時00分散

<活動制限ガイドラインがレベル1の場合>

・舞鶴水産実験所で2泊し，実習期間を短縮する（遠方から参加する実習生には，実験所での前泊，後泊を認める場合がある）。

3月7日：西舞鶴駅10時20分集合

舞鶴水産実験所 耳石解析・胃内容物分析 実験所で宿泊

3月8日：舞鶴水産実験所 緑洋丸で環境観測と底生生物採集 実験所で宿泊

3月9日：舞鶴水産実験所 サンプルの同定と計数

西舞鶴駅16時00分散

3月10日：オンライン 環境データの解説，各自で分析と報告会準備

3月11日：オンライン 報告会

<活動制限ガイドラインがレベル2-の場合>

- ・宿泊を伴う実習が禁止された場合は，下記の予定で，舞鶴水産実験所および京都大学本部キャンパスで日帰りの実習を行うが，その際は自宅（あるいは各自で準備したホテル）から通うこと。ただし，自家用車等での来所は認めない。

3月7日：京都大学本部キャンパス 耳石解析・胃内容物分析

3月8日：西舞鶴駅10時20分集合

舞鶴水産実験所 緑洋丸で環境観測と底生生物採集

西舞鶴駅16時00分散

3月9日：京都大学本部キャンパス サンプルの同定と計数

3月10日：オンライン 環境データの解説，各自で分析と報告会準備

3月11日：オンライン 報告会

<活動制限ガイドラインがレベル2以上の場合>

- ・実習は中止とする。

(註) 天候等により日程や内容を変更する可能性がある